

伊集院保健所感染症情報

2025年第49週（令和7年12月1日～令和7年12月7日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

**管内流行発生警報発令中：インフルエンザ，咽頭結膜熱，伝染性紅斑
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI2】

疾患名	警報基準値		注意報 基準値	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息		第46週	第47週	第48週	第49週	先週からの増減	第48週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	168.00	249.50	160.00	180.00	↗	85.49	↗
インフルエンザ	30	10	10	31.50	51.00	53.00	98.50	↗	28.04	↗
COVID-19	—	—	—	1.50	0.50	1.00	0.00	↘	0.65	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	2.00	1.00	3.00	3.00	→	0.81	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	5.00	15.00	11.00	10.00	↘	2.06	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	2.00	1.00	2.00	0.00	↘	4.45	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.35	↗
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↘
伝染性紅斑	2	1	—	2.00	2.00	2.00	5.00	↗	2.87	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.42	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.13	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	→
R S ウイルス感染症	—	—	—	0.00	1.00	0.00	2.00	↗	1.13	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC

性感染症について

性感染症（STI: Sexually-transmitted Infections）とは，性器クラミジア感染症，性器ヘルペスウイルス感染症，尖圭コンジローマ，梅毒及び淋菌感染症など，性的接触を介して感染する可能性がある感染症を指します。

性的接触により，口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。また，オーラルセックス（口腔性交）やアナルセックス（肛門性交）などでも感染します。

性感染症は，かゆみや痛みのような症状が問題であるだけでなく，感染症の種類によっては，もし治療をしなかった場合，不妊の原因となったり，神経や心臓などに深刻な合併症や後遺障害を残したりすることもあります。また，粘膜が傷つくことにより，ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染しやすくなるなど，他の感染症に罹りやすくなることもあります。特に，生殖年齢にある女性が性感染症に罹患した場合には，母子感染（母親から赤ちゃんへの感染）により，先天性の体の障害の原因となり，放置すると障害が残る可能性もあります。

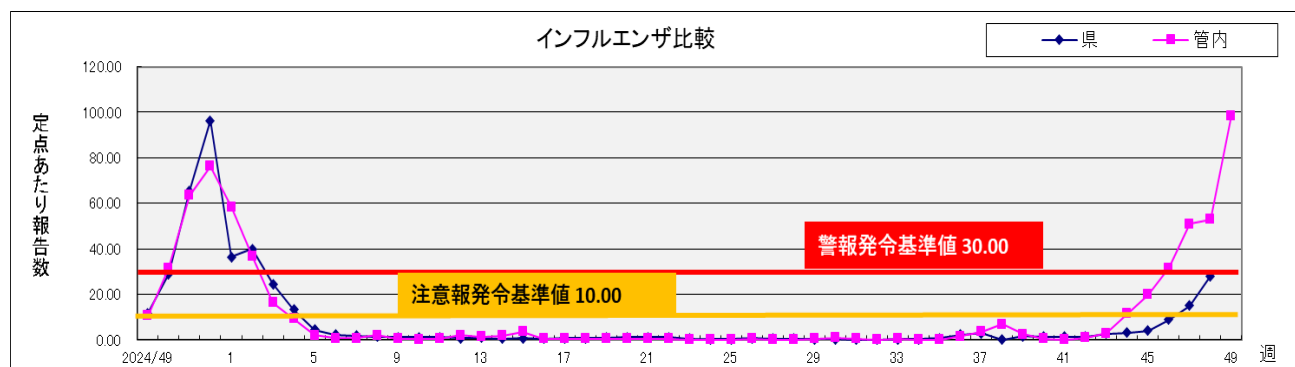
感染しても，比較的軽い症状にとどまる場合や無症状であることもあるため，治療に結びつかないこともあり，感染した人が気付かないままパートナーに感染させてしまうこともあります。このため，不安に感じたら検査を受けることが大切です。

詳細 →



● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生警報発令中）



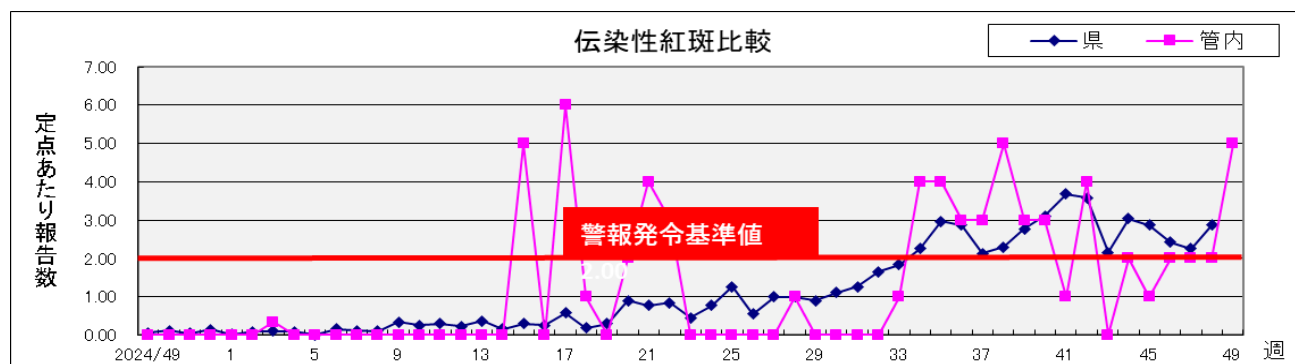
第49週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、48週の106人（定点当たり53.00）から91人多い、197人（定点当たり98.50）です。

年齢別の報告では、10～14歳（69人）、7歳（27人）、6歳（20人）、9歳（17人）、8歳（14人）、5歳・15～19歳（各10人）、3歳・4歳（各7人）、2歳（5人）・1歳（4人）、30～39歳・70～79歳以上（各2人）、6ヵ月～11ヵ月・20～29歳・80歳以上（各1人）でした。

インフルエンザは、発症すると38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防法としては、普段から流水と石けんによる手洗いを行うこと、「咳エチケット」としてマスク等を着用すること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

・伝染性紅斑（流行発生警報発令中）



第49週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、5人でした。年齢別では、3歳（2人）、4歳・6歳・7歳（各1人）でした。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹（紅斑）が現れます。発疹は1週間程度で消失します。感染経路は、飛まつ感染や、接触感染です。

伝染性紅斑に感染したことがない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 12/1～12/7（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが145人（型不明112人、A型32人、B型1名）、溶連菌感染症が2人、マイコプラズマ感染症が1人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	インフル エンザA型	インフル エンザB型	溶連菌 感染症	マイコプラ ズマ感染症
日置市	109	23	0	0	1
いちき串木野市	3	8	1	2	0
三島村	0	1	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	112	32	1	2	1